

知って  
おきたい

# 暮らしてお金のいろは

第38回

**Q** 「人生100年時代」の到来と「老後資金2000万円」問題などを考えると、現在契約している生命保険が目的に合っているか不安になりました。場合によっては見直しも検討しております。注意点などを教えてください。

(50代 男性)

**A** 生命保険を選ぶときの基本は、まず「どんなとき、いくら、いつまで自分に保障が必要なのか」を決めることです。

「どんなとき」とは、次の4つの不安に備えることです。

①万が一(死亡)のとき ②病気・ケガのとき  
③老後を迎えたとき ④介護が必要になったとき  
「いくら」とは、「公的保障」を理解して考えます。

- ①家族の生活費の場合…「遺族年金」や「死亡退職金」などをもとに残される家族が、いくら必要かを考えます。  
②入院費用の場合…「公的医療保険」をもとに出費を考えます。  
③老後の生活費の場合…「公的年金」や「退職金」などをとくに、自分がいくら用意すればよいかを考えます。  
④介護費用の場合…「公的介護保険」をもとに出費を考えます。

「いつまで」とは、安心できる保障期間の目安です。

- ◆子どもが独立するまで
- ◆公的年金がもらえるまで
- ◆生涯必要まで

これからは、特に「保障期間」と「保険料の払い込み期間」が重要と思われるます。最後に、保険で最も重要なことは「受取人」を誰にされるかです。契約形態によって保険金受取時の税金が変わることです。なお、現在の保険を解約し、新たな保険に加入されるときは、「保険料の二重支払い」や「無保険状態になる期間をなくす」ことも注意が必要となります。

2019年の月現在の税制・税率に基づき作成しています。税制・税率は将来変更される可能性があります。ご注意ください。また、個別の税務に関する取り扱いは、税理士または所轄の税務署にご確認ください。

協力 募集代理店 (株)ファミリーライフクラモチ 大森 健一さん

独立系FP事務所(株)ファミリーライフクラモチ代表。AFP・住宅

ローンアドバイザーの資格を活用し、セミナー講師・個別相談等を実施。

募集代理店(株)ファミリーライフクラモチ 土浦市永国997の1 ☎0120・126000

